

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立日高小学校長

佐野 恵子

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月23日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、7月に個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、日高小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国 語	・全体的によく定着しており、十分に満足できる状況である。多くの設問で県平均及び全国平均を上回る結果であった。 ・学習指導要領の内容で示す「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、十分に満足できる状況である。特に、漢字を文の中で適切に使う力や、表現の工夫を捉える力が身に付いている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において、十分に満足できる状況である。特に、文章を読んで考えたことを自分の経験と結び付けてまとめる力や、引用して自分の考えを伝える力が高い。 ・今後は「情報の扱い方に関する事項」において、情報と情報との関係付けの仕方や図などを用いた情報の整理の仕方を理解して活用する力を伸ばしていきたい。
算 数	・全体的によく定着しており、十分に満足できる状況である。多くの設問で県平均及び全国平均を上回る結果であった。 ・学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域において、十分に満足できる状況である。特に「測定」や「数と計算」において高い定着が見られた。 ・数量の関係や資料を基に考え、根拠を示しながら説明する「思考・判断・表現」がよく定着していた。 ・今後は、「変化と関係」領域において、割合や単位量当たりの大きさなど数量の関係を正しく捉える力をさらに伸ばしていきたい。
児童質問紙	・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」で、はいと答えた割合が高く、基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。 ・「自分には、よいところがある」「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」「友達関係に満足している」「学校に行くのは楽しい」と感じている児童の割合が高い。自己肯定感や自己有用感が育まれ、安心して学校生活を送ることができていると考えられる。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」と考える児童の割合が高く規範意識や社会に貢献しようとする意識が育っている。 ・国語、算数ともに「好き」「得意」「授業がよく分かる」と答えた児童の割合が県・全国平均を上回っており、学習に対して前向きに取り組む児童が多い。 ・ICT 機器を使った文章作成や情報収集、情報整理、プレゼンテーション作成ができていると感じている児童の割合は高い。授業や学校生活の中で、さらに効果的に使用できるようにしていきたい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください。】